

## \*\*\* 今日の健康（7月）\*\*\* ＜重症熱性血小板減少症候群（SFTS）－予防＞

### ＜感染経路＞

SFTS は SFTS ウイルス（学名 ダビエ バンダウイルス）による感染症でマダニがこのウイルスを保有しており、マダニに吸血されることで SFTS ウイルスに感染します。

マダニはシカやイノシシなどの野生動物も吸血しますので、SFTS ウイルスはマダニだけではなく、野生動物、ときにペットなどにも感染することがあります。このため、マダニからだけではなく、ネコなどのペットからも感染することがあります。

またごく稀に人から人にも感染することがあり、日本でも最近 SFTS 患者を診療した医師の感染例が報告されています。



### ＜流行地域と季節性＞

2013 年に山口県で最初に報告されて以後、西日本を中心に九州・四国・中国・近畿地方で流行している感染症ですが近年は、愛知県、静岡県、千葉県でも症例が報告されており、徐々に東日本側でも症例が発生しています。

発生時期には季節性の変動があり、5月から9月くらいまでの温かい時期に多く報告されていることが分かりますが、これはマダニの活動性によるものです。

### ＜予防＞

SFTS の予防のためにはマダニに刺されないようにすることが最も重要で、厚生労働省から山や草むらでの野外活動時のマダニから身を守る服装が示されています。

マダニによる感染症として国内では SFTS 以外にも日本紅斑熱、ライム病、*Borrelia miyamotoi* 感染症、ヒト顆粒球アナプラズマ症、ダニ媒介性脳炎、バベシア症などの報告があります。またダニの仲間であるツツガムシによるツツガムシ病は北海道を除く日本全国で報告があります。さらに昨今、北海道ではエゾウイルス感染症、本州ではオズウイルス感染症など新たに見つかったマダニ媒介ウイルス感染症も報告されています。これらのマダニによる感染症を防ぐ最も大事なことは、マダニに刺されないことです。ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する際にはマダニに刺されない服装をすることが重要です。また露出した部分には虫よけ剤を使用しましょう。DEET またはイカリジンという成分を含む虫よけ剤がマダニに有効です。野外活動後にはマダニに刺されていないかお風呂に入ったときなどに体の隅々まで確認しましょう。

